



じっくりゆっくり植物観察

自然解説員
かとう ゆういち
加藤 裕一

どこもかしこも桜の話題で持ちきりの4月上旬。咲き誇る満開の桜を前にすると、なんだかとても華やいだ気分になりますね。しかし、それも束の間、花はあっという間に咲き終わり、それと同時に私たちの桜への関心も一気に冷め、また来年の開花まで桜の樹に注目することはほとんどなくなってしまっているのではないのでしょうか？桜の樹は、あちこちでよく見かけるので、もう十分知ってしまったような気分になってしまいがちですが、実際にはほとんど花の季節しか関心を寄せしておらず、さらに花の咲いているところでさえ、ちらっと眺める程度で済ましていることが多いように思います。

目の前に、開花中の桜の枝があるとします。まずは試しに1分、花を覗き込んでみましょう。すると、例えば「先端が切れ込んだ桜の花びらの絵を見かけるけど、本当に切れ込んでいる！」「あっ、でも切れ込みは意外と浅いんだな」「しかも花びら一枚一枚切れ込み方が微妙に違うことも多いぞ」「おっ、花の柄は毛深いなあ」「あっ、でもこっちの木ではつるつるだ」「ガクはこんなにも赤みが強かったんだな」など、それまで気付かなかったことやイメージと違っていたことがいくつも見えてくるのではないのでしょうか。また、「1つ1つの花は何日間咲くんだろう？」「蜜はあるのかな？」「どんな生き物がやってくるの？」など、疑問もわいてきます。引き続き、5分、10分と観察を続けてみると、桜の樹に集まる鳥や昆虫の姿がたくさん見えてくるはずですよ。「おっ、ヒヨドリとメジロが来ている！」「スズメ、シジュウカラも来たぞ」「ハチも何種類か来ているようだ」「花の中でクモがじっとしているぞ」「何を目当てに桜に集まっているんだろう？」など、色々と気付いたり感じたりすることでしょう。

今度は花が散って、新緑しんりよくの枝があるとします。また1分、例えば葉っぱをあ
れこれと眺ながめてみると、「新しい葉っぱがやけに赤っぽい木があるな」「裏うらから
見たほうが細かな葉脈ようみやくが見やすいな」「それにしても葉脈ようみやくってこんなに細かく
隅々すみすみまで張り巡めぐらされているのか!」「おっ、柄の一番上の方に小さな突起とつきがあ
るぞ、これはなんだろう?」…さらに10分も観察を続ければ、葉を食べる芋虫いもむし
や毛虫、歩き回るアリやテントウムシ、クモの姿なども目に留まるようになり、
さらに観察みきを幹まで広げれば、コケやシダ、キノコなども生えているかもしれま
せん。桜の樹が様々な生き物と係わり合いながら暮らしている様子かいまを垣間見るこ
とができるのではないのでしょうか。

ここまで桜を例に書いてきましたが、これは桜に限った話ではありません。目
立つ花をつける植物の多くについて同様のことが言え、よく知っているはずの植
物でも、花以外の観察は想像以上に手薄で、そして花そのものも十分観察したつ
もりになっているだけ、ということが多いのではないかと思います。

植物は動きません。顔を近づけてじーっと覗き込んでも毎日毎日じろじろ観察
しても逃げ出したりしません。いつもそこにいる植物は、本来ならば、その気にな
ればいくらでも観察ができるはずです。しかし、動かないゆえに、目を引く花
などが無ければなかなか気付いてもらえず、
風景ふうけいの一部になってしまいやすいのではない
のでしょうか。そんな植物たちも、いつもよ
り少し多めに時間をとってじっくりとゆっ
くりと接してみると、ごく普通に目にしてい
る植物でも、自分にとって新しい発見そほくや素朴
な感動にきっと出会えると思います。そして
植物が持つ様々な色や形かんげきに感激し、小さな発
見を大切にしつつ身の周りを改めて見回し
てみることで、歩き慣れた散歩コースの植物
たちをまたちょっと新鮮しんせんな気持ちで楽しめ
るようになるのではないかと思います。



サクラの花



夏のスタミナ野菜



オクラ・モロヘイヤの作り方

みどりの相談員
こばやし きよ代 次

オクラの性質

アフリカ原産のアオイ科の野菜です。花を^{かんしょう}観賞し、若い実をサラダや酢の物に利用します。

オクラのつくり方

- ・タネまき 5月中旬以降（発芽温度 25℃以上と高温を好みます）
タネ皮が^{かた}硬いので、一^{いちゅうや}昼夜水につけてからまきます。
- ・場 所 日当たりの良いところ
- ・肥 料 1 m²当たり化成肥料150～200gと有機質肥料
- ・栽植距離 70×40～50cm
- ・手 入 れ 乾燥と肥料不足にならないよう気をつけます。また、草勢にあわせ摘葉し、若い実を収穫しましょう。

モロヘイヤの性質

エジプト地方の原産で暑い気候を好み、草丈1.5Mくらいに成長します。健康野菜として注目されています。



モロヘイヤのつくり方

- ・タネまき 5月中旬～6月（^{ほつが}発芽温度25℃以上）
- ・移植栽培 タネが小さいので鉢かポットでまき、本葉が4枚から5枚頃まで育ったら定植します。
- ・栽植距離 株間50cm
- ・場 所 日当たりと水はけの良いところ
- ・肥 料 1 m²当たり化成肥料100～200g
- ・手 入 れ 草丈40～50cmくらいで摘心し、側枝に2～3枚の葉を残して15～20cmくらいの先端葉を収穫します。

※追肥は2～3週間おきに施しましょう。

空のハンター 猛禽



自然解説員
直井 宏



オオタカ

猛禽（ワシ、タカ目とフクロウ目を使い一緒に紹介します）には肉を裂くのに適している、非常に強く鋭い短い嘴があり、嘴の基部には口ウ膜があります。翼は良く発達しており、脚も頑強で4指に鋭い爪を備え「フクロウ」「ミサゴ」は第4指を後方に回す事が出来ます。

昼間活動する「ワシ、タカ、ハヤブサ」類の視力や視界は大変すぐれていて視力は人間の6倍以上もあるといわれており、このすぐれた視力で遠方の獲物や敵をすばやくキャッチして行動することを可能にしています。「ノスリ」の例を挙げるとなんと3.5キロ先のウサギの動きを正確にキャッチする事が出来るようです。

今年の冬は偏西風の蛇行によって寒気が次々に日本列島に流れ込み、各地で低温、降雪量の記録を更新致しました。そのために猛禽、水鳥類を除く多くの冬鳥達に影響が及んでいた様です。

今回は松戸市を含む関東地方の南部で比較的に良く見られた猛禽達の狩を支える特徴的な機能を紹介したいと思います。



ツミ

狩の方法は

イヌワシ、クマタカ、トビ

高空を帆翔しながら獲物を見つける。

チョウゲンボウ、ノスリ、ミサゴ

一定の高さでホバリングし獲物を見つける。

ハヤブサ、オオタカ、ノスリ

岩場、樹木等の高い所から加速し高い機動性を利用して獲物を捕捉する。

オオタカ、ハイタカ、ツミ

高い俊敏機動性を駆使し木々の間をすり抜けながら獲物を捕捉する。

これ以外にもその時の状況に対応して狩の方法も変化する様です。



フクロウ

さて、夜間主に活動するフクロウの間は、人間の眼の様に物を立体的に見る事が出来る上に、さらに夜間の弱い光の中でも充分活動が可能な高感度の視力と鳥の中でも両眼視界が広い優れた眼を備えています。

この他にフクロウの間多くの多くは「集音」に適した丸い顔盤と呼ばれる「BSアンテナ」のような羽毛構造で非常に正確な聴覚と、羽音が殆んど発生しない翼の構造で、スピードは出ないが高度機動性を発揮出来る大きな翼等で暗闇の狩を可能にしています。

余談ですが国鉄時代（現JR）の新幹線開発当初に高速で走行する際「パンダグラフ（集電装置）」から発生するノイズ問題で行き詰った時に、開発責任者の島秀雄氏は趣味のバードウォッチングでフクロウの翼の消音構造を思い起こし、そこからヒントを得てノイズの発生を軽減する事に成功したエピソードは有名

です。

フクロウ類のハンティング中の軽快な^{ひしろう}飛翔を可能にする大きな翼は、^{よくめんかじゅう}翼面荷重の小さい^{まさ}正に理想の羽形です。

細長いカモメやアホウドリに代表される翼は「縦横比」が大きく省エネ型で長く飛び続ける事には向いていますが俊敏さに欠けます。（グライダーの翼の形です）

フクロウ類のハンティングの方法は場所、種によって異なります。比較的に見る事が出来る主なフクロウの仲間を紹介致します。

コミミズク（冬鳥）

^{あしはら}葦原、^{こうち}草原、河川の土手、^{こうち}耕地等を低空飛行して主にネズミの発生する音^{かんち}を感知して地上で捕える。

フクロウ（留鳥）

森林、田畑で立木等で待ち伏せしてネズミ等の獲物の発生する音の位置、距離、を正確に測って舞い降り鋭く長い爪で捕える。

アオバズク（夏鳥）

飛翔昆虫やコウモリ類を追いかけて空中で捕える。

※フクロウの羽の消音構造

フクロウの翼の羽は丸みをおびていて初列風切羽前縁は櫛状。風を流す翼羽後縁はやわらかいため羽ばたき音を消す事が出来る。

フクロウの仲間は夜行性ですが昼間でも十分に活動する事が出来ます。特に冬鳥の「コミミズク」は曇天^{どんてん}や夕方早目から草原や葦原の上を低く軽快に飛び廻る姿を見る事が出来ます。時にはカラス等に追われて空高く逃げ廻る事もあります。



上：フクロウの羽
下：ドバトの羽



4・5月の催し物



講座	日時	対象・人数	講師・主催者	費用	受付
展示 「ふれあい絵手紙展」	平成 18 年 3 月 28 日 (火) ～4 月 2 日 (日)	どなたでも	絵手紙わの会	無料	—
展示 「穏やかに晴れわたる午後 パ ート 8 (パステル画展)」	平成 18 年 4 月 7 日 (金) ～14 日 (金)	どなたでも	新咲清彦氏	無料	—
園芸教室 「芝の作り方と管理 (実習有)」	平成 18 年 4 月 13 日 (木) 13:30～15:00	どなたでも 30 名 (要申込)	みどりの相談員 野口宣二氏	無料	4/1～
昆虫ウォッチング (雨天中止)	平成 18 年 4 月 15 日 (土) 10:00～11:30	どなたでも 当日先着 25 名	自然解説員 田中宏卓氏	無料	当日
バードウォッチング (雨天中止)	平成 18 年 4 月 16 日 (日) 10:00～11:30	どなたでも 当日先着 25 名	自然解説員 直井 宏氏	無料	当日
園芸教室 「春と夏の花壇の手入れ」	平成 18 年 4 月 22 日 (土) 13:30～15:00	どなたでも 45 名 (要申込)	みどりの相談員 青島尚祐氏	無料	4/1～
展示 「盆栽展」	平成 18 年 4 月 28 日 (金) ～30 日 (日)	どなたでも	日本盆栽協会松 戸支部	無料	—
野草ウォッチング (雨天中止)	平成 18 年 4 月 30 日 (日) 10:00～11:30	どなたでも 当日先着 25 名	自然解説員 加藤裕一氏	無料	当日
展示 「押し花展」	平成 18 年 5 月 9 日 (火) ～14 日 (日)	どなたでも	アトリエ敏	無料	—
野草ウォッチング (雨天中止)	平成 18 年 5 月 20 日 (土) 10:00～11:30	どなたでも 当日先着 25 名	自然解説員 川端祥子氏	無料	当日
園芸教室 「タイトル未定」	平成 18 年 5 月 21 日 (日) 13:30～15:00	どなたでも 30 名 (要申込)	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	未定	5/1～
昆虫ウォッチング (雨天中止)	平成 18 年 5 月 21 日 (日) 10:00～11:30	どなたでも 当日先着 25 名	自然解説員 田中宏卓氏	無料	当日
園芸教室 「家庭菜園～夏の手入れ」	平成 18 年 5 月 28 日 (日) 13:30～15:00	どなたでも 45 名 (要申込)	みどりの相談員 小林喜代次氏	無料	5/1～
展示 「現代押し花アート展」	平成 18 年 5 月 30 日 (火) ～6 月 4 日 (日)	どなたでも	原色現代押し花	無料	—

注) 予定に変更が生じる場合がございますので、詳しくはパークセンターまでお問い合わせ下さい。



「こめっこクラブ」 会員募集！！



〔申し込みは〕

往復ハガキに住所、氏名（フリガナ）、電話番号、学校名、学年を記入しパークセンターまで送付して下さい。

4月14日（金）締切（必着）

住所は下記のとおりです。

公園にある田んぼでお米づくりの体験をしてみませんか？

年6回の活動日に保護者と一緒に全回参加できる市内小学校4年生～6年生25名を募集します。

〔活動日〕

5月13日(土)田植え、6月17日(土)除草・害虫駆除、7月29日(土)稲の観察・かかし作り、9月2日(土)稲刈り、10月7日(土)脱穀、11月11日(土)おもちつき

〔時間〕

午前10時～12時

（おもちつきは午後2時まで）

※申込多数の場合は抽選になります。



発行日：2006年4月1日

発行：21世紀の森と広場パークセンター

開館：9：00～16：30

月曜休館（祝日開館／翌日休館）

〒270-2252

松戸市千駄堀269

TEL 047-345-8900

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。
- ・ペットを連れての入園はできません。
- ・動物・植物をとらないで下さい。

